

●第72号(一九八一年二月)

特集・婦人問題

- 婦人の生き方と行政の課題——山手 茂
- 婦人と労働
- ①低賃金を支える意識構造の継承性——長友智恵子
- ②女子社員の能力開発と活用——井戸和男
- これからの女性の老後—年金をめぐる諸問題—網城毅
- 婦人相談員からみた婦人問題——田附ゆきえ
- 婦人の地域活動
- ①育児期における主婦の社会参加——長井京子
- ②乳幼児家庭教育センターの活動——菊地汎子
- ③地域活動をとらえてみた婦人問題——山口定子
- ④学童保育とともに——青木節 繁多 進
- 共働き家庭における育児——田宮敦子

行政研究

- 横浜市婦人の現状と動向——多根雄一
- 市役所女子職員の意識調査——金田孝之
- 都市の主体性について——加藤勝彦

●第73号(一九八二年三月)

特集・アジアの都市と横浜

- アジアとのかかわり
- ①照葉樹林の起源を求めて——川瀬 博
- ②フィリピンで暮らして——岸 敏明
- 横浜の中のアジア
- ①市民作文にみる「アジア認識」——紀田順一郎
- ②横浜に住むアジアの人びと—国際交流研究グループ
- アジアの都市問題とは何か
- ①アジアの都市の考察視点——田辺 裕

②アジアの都市

- アジアの都市の現状
- ①バンコク・クロントイ・スラム——岩崎美佐子
- ②都市住居と居住政策——岡 利実
- ③アジア都市の交通問題——太田勝敏
- ④第三世界における都市のはざま——飯島 茂
- 東南アジアの都市をどう見るか——矢野 暢
- アジアの中の日本・横浜を考える
- ①タイで過した幼児期——藤本典子
- ②わたしの中の地図・日本と東洋と——沢 宇実
- ③アジアと私——土橋泰子
- ④都市レベルの国際交流——岡部重之
- ⑤アジアと日本——岩崎駿介

行政研究

- 編集者が語る広報紙——調査プロジェクトチーム
- 新書紹介／日本のサラリーマン——富永 修
- 第74号(一九八二年六月)
- 特集・横浜と農業
- 「明るい農村」から見た日本の農業と農村——中山亮一
- 都市と共に生きる農業——井一光義
- 農業基盤の確立をめざして——中村博美
- 横浜農業の現状を追う
- ①都市農業に社会的価値を——大島千恵子
- ②横浜を歩く——編集部
- 反骨の条件—農協の現状と課題——小川亥三郎
- 後継者はいないのか——矢沢定則
- 農業と都市の連帯
- ①公園と農地の共存——小泉信三 岡部晴雄
- ②「市民農園」による都市づくり——前川 慎

③契約栽培を通じた結びつき——椎名公三

- 行政研究
- 都市デザインと市民の意識——北沢 猛
- 新書紹介／自治体の情報公開——中山正己
- 第75号(一九八二年九月)
- 特集・横浜と工業
- 大都市における工業市街地の現状と課題——小林重敬
- 横浜における産業の現況と課題——中村 実
- 横浜における工場立地規制と住工混在——江成藤吉
- 横浜の中小工業の今日——碓井 貢
- 金沢工業団地工場移転の経過とその課題——山田 稔
- 大谷高久 高橋道夫 吉田正博 稲村守彦
- 横浜の工業と公害対策——鈴木 祥
- 工業の新しい動き
- ①研究開発型機能の存立条件——片岡純一郎
- ②ベンチャー型中堅企業——内山 康
- これからの横浜を担う都市型成長工業——渡辺巧教
- 行政研究
- 地域的データ管理のシステム化(上)——大森 敬
- コミュニケーション道路試論——三浦 良
- 新書紹介／韓国人の心——加藤勝彦

昭和57年(1982年)12月30日

編集・発行——横浜市企画財政局都市科学研究室

横浜市中区港町1—1

電話——045・671—2028・2029 郵便番号——231

印刷——西岡印刷株式会社

横浜市南区吉野町5—22

●横浜市のデータ

人口——2,854,253人<57.12.1>

世帯数——965,589<57.12.1>

面積——429.08km²<57.12.1>

河川数——1級河川9、2級河川21、

準用河川26、都市計画河川27、

都市小河川14、普通河川(一般下水道)約80<57.7>

遊水池数——306(工事完了171、施工中66、設置予定69)<57.2.1>

市内の川に多い魚——ギンブナ、モツゴ、ドジョウ<54~55>